

クレア派遣レポート Vol.1

一般財団法人自治体国際化協会
北京事務所 田村 佳利（農林技師）

〇はじめに

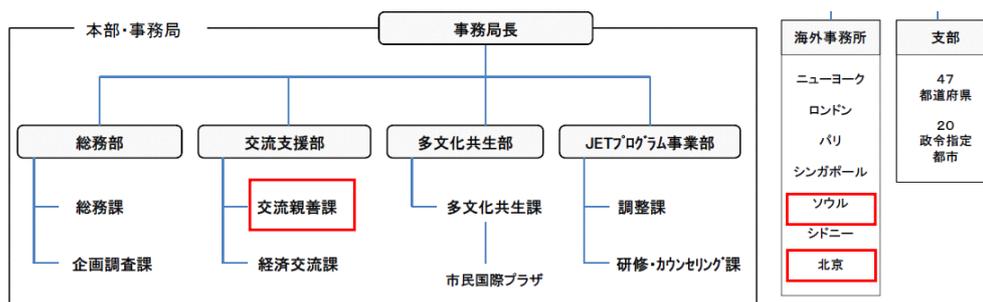
一般財団法人自治体国際化協会（通称「クレア」）派遣中（2019年4月～）の田村です。4月1日よりクレア北京事務所に赴任し、現在、広州市内の指定ホテルにて隔離生活をしながら業務をしております。せっかくの機会ですので、クレアとは何なのか、そこに派遣されて何をするのかなど、ざっくりですが皆さんにお伝えしたいと思います。

〇クレアって何？

クレアは読んで字のごとく、全国の自治体の国際化活動を支援する組織です。自治体による地場産品の販路開拓（経済交流）、外国人が住みやすい街づくり（多文化共生）、外国語指導助手（ALT）の派遣・受け入れ（JETプログラム）、日本の自治体と海外の自治体との交流（交流親善）など、様々な角度から国際化をサポートしています。また、私が3月末までいた東京本部に加えて7つの海外事務所（ニューヨーク、ロンドン、パリ、シンガポール、ソウル、北京、シドニー）があり、自治体の国際化を現地からも支援しています。

クレアの事業の中で、皆さんに最も馴染みがありイメージしやすいのはJETプログラムではないでしょうか。同プログラムは、日本で国際交流・語学指導業務に携わりたいことを希望する外国青年を募集して研修を実施し、希望する自治体に彼らを派遣するという事業です。県内の小中高校で活躍するALTの皆さんや、各自治体で活躍する国際交流員（CIR）の皆さんも、JETプログラムを通して派遣されています。

自身のことを話すと、2019年の4月から2年間、東京本部の経済交流課に所属しており、自治体の海外向け経済活動の支援に携わってきました。そして今年度から1年間、北京事務所に赴任となります。現在、私以外にも2名の県庁職員がクレアに派遣されていて、それぞれ東京本部（交流親善課）とソウル事務所に派遣されています。



○具体的に何してるの？

ここでは、3月末まで所属していた本部・経済交流課について紹介します。

経済交流課では、自治体が行う海外販路開拓やインバウンドに係る取り組みをサポートする事業を主に行っています。詳しくは以下のHPをご覧くださいと思いますが、自治体向けの助成事業「経済活動助成事業」や海外でのテストマーケティング機会の提供「日本ふるさと名産食品展事業」、大手料理教室（ABC Cooking Studio）と連携した招聘事業「食を通じた地域のプロモーション交流事業」、インバウンド等に精通した専門家の派遣「プロモーションアドバイザー派遣事業」、海外経済セミナーの開催などを行っています。

（経済交流課 HP） <http://economy.clair.or.jp/>



食品展事業@クアラルンプール



招聘事業@新潟（中国から招聘）

そのほか経済交流課では、クレアのホームページを利用して、自治体のインバウンドや海外販路開拓に関する取組を紹介しており、その紹介記事は各職員が持ち回りで執筆することになっています。私も過去3回執筆（下記参照）を担当しておりますので、皆さんもお時間がありましたら是非御覧ください。

・「フルーツ」を町づくりの起爆剤に ～和歌山県紀の川市の挑戦～

→<http://economy.clair.or.jp/casestudy/inbound/5334/>

- ・ 中国／越境 EC の可能性と落とし穴 ～今、自治体がすべきこととは～
→<http://economy.clair.or.jp/casestudy/inbound/5740/>
- ・ ウィズコロナ／マイクロツーリズムの可能性を探る ～鳥取県の取り組み～
→<http://economy.clair.or.jp/topics/6605/>

(Vol.2 ではコロナ禍における中国渡航について紹介したいと考えております)